

平成26年度第1回屋久島科学委員会の論議の整理（モニタリング調査）

課題	主な意見	現在までの対応	今後の対応
<p>モニタリング調査</p> <p>外来種対策</p>	<p>・アブラギリ対策について、除草剤の樹幹注入を検討していただきたい。 ・小笠原のアカギ駆除においても、樹幹注入が大変効果的な結果を得ている。</p>	<p>・H22.23 アブラギリ育成状況調査、分布調査 ・H24 伐倒、巻枯し等の駆除試験地設定 ・H26 公益的機能維持増進協定地試験地設定（試験内容：伐倒、林外搬出、防草シート被覆、芽掻き、塩注入試験を実施） 現在、試験地において継続調査中</p>	<p>・現在の駆除試験結果、効果の検証。 ・地元住民の理解を得る取り組みも必要である。</p>
<p>利用状況のモニタリング調査</p>	<p>・調査項目や調査方法が詳細に定められていない。同じ方法によるモニタリング継続が困難となるなら、モニタリングの実施計画の策定が必要である ・屋久島への来島回数、もう一回来たいと思うのか、思わないのか、その理由等を知りたい。</p>	<p>・平成26年度から、利用に関するモニタリング計画の検討を開始。</p>	<p>・左記業務について、社会科学系委員にご意見を頂きながら、モニタリング計画や実施手法について検討する。</p>